



SAKIKO ITO 76/45

MEIKO NAKAHARA 76/45

for VIP

SIDE 1

リトル プリンス

大津あきら作詩  
棚部 陽一作曲  
矢野 立美編曲

歌：伊藤咲子  
コーラス：伊集グループ

SIDE 2

涙のスローダンス

中原めいこ作詩  
中原めいこ作曲  
直居 隆雄編曲

歌：中原めいこ  
コーラス：ギャル

## 制作にあたって

日頃、第一家庭電器をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

DAMオリジナル録音も第12作目となりました。今までダイレクト・カッティングやデジタル録音、そしてマルチ・ダイレクトと最新の録音技術を駆使したレコード制作に挑戦してきました。

デジタル録音は現在、マルチ・トラック録音のデッキその他がまだまだアナログほど充実していない所があり、その為2チャンネル録音が大半をしめているのが現状です。ですからマルチ・トラック録音でなければ不可能なダビングを必要とするポップスやニューミュージックなどは、デジタル録音のレコードがほとんど発売されていないのも、まだ完成度の点でアナログにややおよばない所があるためといえます。そこでアナログの良さを十分に味わっていただけるよう、ボーカルを中心としたポップス、シティー・ポップスを企画いたしました。オーディオ・チェックレコードでチェックしやすく又聴いて楽しいという事になりますと女性ボーカル以上のものは考えられないのではないかと思います。

そこで今回は、声の質、歌い方もまったく異なった2名のシンガーに登場していただき、それぞれの持味を十分に発揮していただく為、アレンジャーもそれぞれ2名参加していただきました。

1人目は、歌のうまさで定評のある伊藤咲子さんです。

デビュー当時のひまわり娘も、現在は大人の歌を十分にこなせるシンガーに成長しました。

彼女のシングルヒット曲の「リトル プリンス」を人気アレンジャー矢野立美さんに編曲していただきました。

そして2人目は、昨年4月にデビューしたシンガー・ソングライターの中原めいこさんです。

彼女は作詩・作曲家としての才能も抜群で、リズムカルな曲調をベースとしたオリジナルのLP「ココナッツ・ハウス」をヒットさせている、新人ながら実力派のシンガー・ソングライターです。彼女の編曲は、弘田三枝子さんの時にお願ひし好アレンジを聴かせてくれた、実力派アレンジャーの直居隆雄さんに再度登場していただきました。

フュージョン調のパワーフルな演奏で、細身ながら声量豊かな歌声は魅力十分で、シティー・ポップスの楽しさや録音のちがいを味あわせてくれます。

2人のまったくちがったサウンドのボーカルをアナログ録音しましたが、声の艶、ふくらみ、そして雰囲気などアナログでなければ得られない独特のもので、現在のデジタル・2チャンネル録音との持味のちがいははっきりと感じていただけるものに仕上がったと自負しております。

今回の「for VIP」は、会員の皆様にも満足いただけるよう、SIDE 1の「リトル プリンス」は、オリジナル・マルチ・マスターテープからトラックダウンをしながら直接カッティングをしたマルチ・ダイレクトカッティング方式を取りました。サブタイトルもスーパー・アナログ・ディスクと、名の通り、クリアなサウンドをDOR-0117とあわせ御試聴いただきたいと思ひます。

皆様のお聴きとして末長くご使用いただければ幸いです。

## ★伊藤咲子プロフィール

S.33.4.2生れ。本名：同じ。

S.49.4「ひまわり娘」で初レコーディングをロンドンでした、期待のビッグ新人として東芝EMIよりデビュー、又それが大ヒットというめぐまれたスタート。第7回新宿音楽祭銅賞、第3回サンブラザ音楽祭グランプリ、第1回横浜音楽祭新人特別賞等数々の賞を受賞。

ヒット曲は「青い麦」「乙女のワルツ」「木枯の二人」。

最新ヒットは「リトル プリンス」、最新アルバムは「スロー・モーション」。

## ★中原めいこプロフィール

S.34.5.8生れ。本名：小原明子。

鈴木邦彦ポップス・スクールを経て、S.57.4「今夜だけDANCE DANCE DANCE」でデビュー。トロピカルなムードで歌うこの曲はノリやすく、渋谷「ライブ82」、新宿「ルイード」等ライブ・ハウスでデビュー、人気を得る。

デビュー・アルバム「ココナッツ・ハウス」の売上げも上昇。最新シングル「Go-Away」を発売。セカンド・アルバム「2時までのシンデレラ」を1月新譜にて発売。またファーストコンサートも4月に日本青年館で行う、期待のシンガー・ソングライター。

# ◎ interview

## 伊藤咲子さんインタビュー

- Q: DAMオリジナル録音に参加されて
- A: オーディオ・チェックレコードを作るという話だったので、どんなことをするのか聞くまで何も知らず打合せて話を聞いてビックリしたのは、一度発売した曲を再び録音するということが二度驚きました。この様なことは初めてなのですごく緊張感があり、特に3曲とも違うパターンの曲なので、それを2日で仕上げるといので、でも、すごく勉強になりました。
- Q: デビューされて何年ぐらいですか
- A: NTV「スター誕生」で選ばれ、16歳になったばかりの4月に「ひまわり娘」でデビューしました。もう9年になります。早いですね。その間にいろいろ賞もいただきました。
- Q: 近況を聞かせて下さい
- A: レコード活動を中心にしています。お店回りから各局、それにミニコンサートからいろいろです。今回はイーストワールド・レーベルでの発売で、私もすごく力が入っています。

## 中原めいこさんインタビュー

- Q: DAMオリジナル録音に参加されて
- A: 最初オケ録りから2日の日程で録音すると言われビックリ、また一度アルバム録音したものをやるということが何か不思議なので、企画内容を聞いたら、オーディオ・チェックレコードの限定盤ということなので、どういう風にするのか非常に興味がありました。
- Q: デビューするまでのことを少し聞かせて下さい
- A: 鈴木邦彦さんのスクールに入っていました。普通は歌の勉強をするために入ってきている人達が多いのですが、私は曲の勉強と歌の2つの勉強をしました。自分で曲をかなり書いていたので。通学の電車の中で考えたり、ふっと思ったフィーリングで表現出来るようにしていました。そして、テレビ局で歌のバック・コーラスをしていたりし、デビューは、新宿の「ルイード」でライブ・デビュー、その時に東芝EMIからレコーディングの話がありました。
- Q: 今は何を中心に活動していますか
- A: ライブ・スポット出演や、9月発売

Q: これからの目標は

A: 今までのポップス・タレントから、なんでも出来る歌手になることですね。踊りも出来、歌も出来るようなエンターテイナーになることが出来たらと思います。誰でも言うことですが、ミュージカルをやれたらと考えて、今、いろいろなことに挑戦しながら勉強しています。アグレッシブなヴォーカリストを目指し、どんなジャンルの歌も歌え、幅広いもの出来る伊藤咲子として、これからも頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

## 矢野立美氏インタビュー

- Q: DAMオリジナル録音に参加されて
- A: 初めてオーディオ・チェックレコードの編曲で今までと別の世界をつくってみました。又、伊藤咲子さんをアレンジした

のも始めてですし、彼女の良さとオーディオ的な響きをどういう風に出すか色々考えました。彼女のボーカルと生楽器の良さを合せもったアレンジをオーディオ的に、ダイナミックレンジの広さを考え全体的に量感をもたす様に、又弦をハデにするためストリングス編成を大きくし、パーカッションの使い方を普通より多くすることで、チェックのしやすい様にしたつもりですが。



「Go Away」の新课キャンペーンで各地へ行っています。なぜか大阪の方で受けているみたい。

Q: これからの目標は

A: シンガー・ソングライターとして、シティ・ポップスの世界を自分で作って行きたい。まだ新人ですが、ユーミンのようにコンサートやリサイタルの出来るシンガーになっていくのが目標です。この秋は各大学の学園祭にも多く出演しますので、一曲でも多く皆様に聴いていただいで頑張っていきます。特にコンサート活動を多くしたいと思っています。

でイメージがわからず、曲を聴かせてもらったんですが、オリジナルアレンジが有りそれをオーディオチェック風にアレンジの依頼、何をどうしようかと頭を整理するのに時間がかかりました。3曲共彼女の作詩作曲ということですが、メロディーが非常にきれいで歌い方が正直なので誰にでも受け入れやすいことが特徴です。このまま伸ばして行けば巾の広いアーティストにきつとなると思いますね。

## 直居隆雄氏インタビュー

- Q: DAMオリジナル録音に参加されて
- A: たしか今回で3回目ではないかと思いません。アレンジとしては弘田三枝子さんに次いで2回目ですが、今度のは一度も違ったことのない中原めいこさんということ

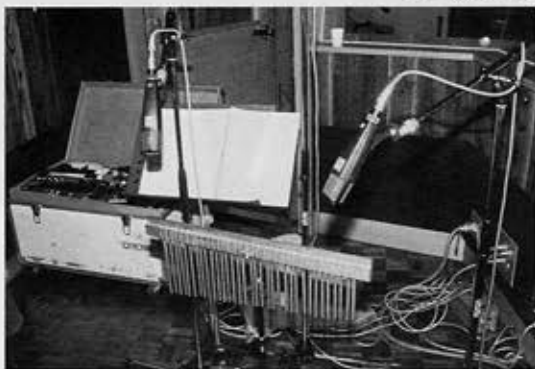




ストリングス



パーカッション



パーカッション



アコースティック・ギター



グロッケン



エレキ・ギター



ピアノ



エレキ・ベース



ドラムス



リズム・セクション



コーラス





ストリングス



ブラスセッション

●マイクアレンジ

弦 ノイマン M-269c  
ノイマン U-89i

管

ベット ノイマン U-89i  
ホーン ノイマン U-89i  
サクソ ノイマン M-269c  
パーカッション

コンガ ゼンハイザー MD-421  
ウインドチャイム ゼンハイザー MD-421  
グロッケン AKG C-414EB  
ティンパニー エレクトロボイス RE-20

ドラム

タム ゼンハイザー MD-421(A)  
シュアー SM-7(B)  
ハイハット AKG D-224  
トップ AKG C-451  
キック ゼンハイザー MD-421  
スネアー ゼンハイザー MD-421

ピアノ ) ノイマン M-269c  
チェンバロ )

GG ノイマン U-89i

EG ライン カントリーマン  
エレクトロボイス RE-20

EB ライン カントリーマン  
エレクトロボイス RE-20

コーラス ノイマン M-269c

咲子ハンドマイク ショップス CMH-54U (A)-1

めい子 ) ボーカル ノイマン M-269c  
咲子 )



エレキ・ベース



ドラムス



パーカッション



エレキ・ギター



ピアノ



コーラス



アルト・サクソ

楽器編成

9/22 伊藤咲子 Arr 矢野立美

EB 金田一昌吾  
EG 鳥山 雄 司  
FG 安田 裕 美  
Drs 宮崎まさひろ  
Pf 上柴はじめ  
LPC 鳴島 英 治

9/24

Strings 友田グループ  
key 上柴はじめ  
Perc 越野 慎 子  
Chor 伊集グループ

CLIENT : DAM  
PRODUCER: Koyama  
DIRECTOR:  
ARRANGER: Yamo  
ENGINEER: Watanabe  
OPERATOR:



DATE: '82.9.22.24  
REEL NO:  
TAPE SPEED: 30 15 ips  
NOISE REDUCTION: DOLBY  
REF: 250 nWb/m  
TONES: 1 kHz 100 Hz 0 VU

TITLE  
SAKIKO ITO

|               |     |     |        |         |     |     |     |     |    |     |    |    |
|---------------|-----|-----|--------|---------|-----|-----|-----|-----|----|-----|----|----|
| M-            | 1   | 2   | 3      | 4       | 5   | 6   | 7   | 8   | 9  | 10  | 11 | 12 |
| Little Prince | H-H | BDr | TOP    | Tom     | Sdr | EB  | APf | APf | AG | Sym | EG | EG |
| TIME          | 13  | 14  | 15     | 16      | 17  | 18  | 19  | 20  | 21 | 22  | 23 | 24 |
| TAKE          | Lpc | Lpc | CHOCHO | Strings | Sym | Sym | Vo  | Vo  |    |     |    |    |
| NOTE          |     |     |        |         |     |     |     |     |    |     |    |    |

楽器編成

9/16 中原めいこ Arr 直居隆雄

EB 杉本和也  
EG,AG 直居隆雄  
Drs 市原 康  
Key 菊地ヒミ子  
LPC 石山 実

9/17

フリューゲル 数原 晋  
TP 小林正弘  
TP 小林正弘  
Tb 新井英治  
A.Sax 村岡 建  
Strings JOEグループ  
Chor ギャル

CLIENT : DAM  
PRODUCER: Koyama  
DIRECTOR:  
ARRANGER: Naoi  
ENGINEER: Watanabe  
OPERATOR: Orito

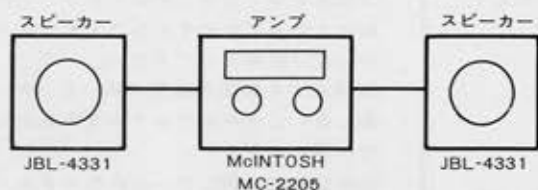


DATE: '82.9.16  
REEL NO:  
TAPE SPEED: 30 15 ips  
NOISE REDUCTION: DOLBY  
REF: 250 nWb/m  
TONES: 1.10 kHz 100 Hz 0 VU  
DOLBY TONE

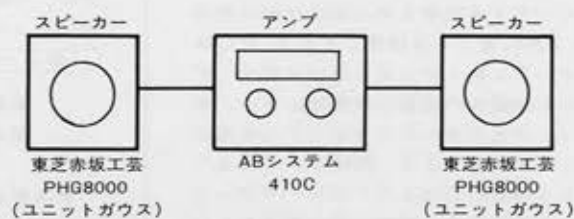
TITLE  
MEIKO NAKAHARA

|       |       |     |       |     |       |    |           |      |      |     |     |    |
|-------|-------|-----|-------|-----|-------|----|-----------|------|------|-----|-----|----|
| M-    | 1     | 2   | 3     | 4   | 5     | 6  | 7         | 8    | 9    | 10  | 11  | 12 |
| 涙のソング | H-H   | BDr | ← Tom | TOP | → Sdr | EB | ← Pf      | → EG | ワラス  | Lpc | ワラス |    |
| TIME  | 13    | 14  | 15    | 16  | 17    | 18 | 19        | 20   | 21   | 22  | 23  | 24 |
| TAKE  | ← Epf | →   | * Sym | →   | ← EG  | →  | * Strings | →    | 7/12 | Vo  | Vo  |    |
| NOTE  |       |     |       |     |       |    |           |      |      |     |     |    |

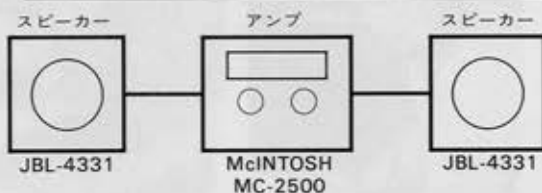
ブロックダイアグラム (東芝EMI 1st S.57.9.16, 17, 22, 24)



トラックダウン・ブロックダイアグラム (東芝EMI 3st S.57.9.25~26)



トラックダウン・ダイレクトカット(S.58.2.7)



東芝EMI 第3スタジオ



## ■DAMハイクオリティ・レコードについて

最近のデジタル・オーディオ技術とその周辺技術の急速な進歩でハード、ソフト共に著しく多様化しており、PCMテープ、デジタル・オーディオ・ディスク及びビデオ・ディスク等による新しい記録媒体の開発と実用化に伴い、多種多様なソフトテクニックと音楽へのアプローチの仕方が一段とエスカレートして来ております。同様にいかに高い音楽性とオリジナル演奏の忠実なトータル・サウンドを完成させるか、ソフト技術以上に製盤技術の開発もここに来て厳しく、高密度、高品質化の一途を辿っています。その中で特にビデオ・ディスク及びデジタル・オーディオ・ディスクの開発技術によって得られた製盤の周辺技術とノウハウを最大限に駆使し、従来のマスプロの仕様とは性格の異なる、手作りのプロセスを経て制作されたものが今回のDAMレコードであります。

オーディオ・マニア諸氏はもちろんのこと、音楽ファンの皆様も年2回企画されているDAMレコードについては、常に新しい試みがなされ、前向きな姿勢で技術的テクニックとそのトーン・キャラクターを追求し、より忠実な音楽の再現を制作ポリシーとしている意図を理解していただいていることと思います。

そこで今回のハイクオリティ・レコードの特徴を述べてみます。

### レコード(フラット・ディスク)形状

一般レコード形状は、音溝部を保護する為にレーベル部とレコード周縁部にグループガードをほどこして、音溝部が直接に接触しない様に厚くしております。これが一方では、レコード再生条件や音質への影響を考慮した場合必ずしも望ましい形状では無いようです。

例えばa)グループガードの傾斜している溝部に再生針先が正規な溝壁面接触しないままトレースする為に、異状音の発生やノイズの発生原因となります。b)ピックアップを下す時へたをすると、針先が滑って音溝部までジャンプする事もありキズの原因となります。c)ピックアップによっては、カートリッジの底がグループガードに接触することもあります。d)音質への影響としては、断面形状から解るように、ターンテーブル・シートと音溝部の密着性が悪くなり、レコード個有共振を起こしやすい状態にあると云えます。



Fig 1 一般のレコード a-b=0.6(mm)

Fig 2 新フラットレコード(ディスク) a'-b'=0.2(mm)

御存知のようにステレオ音溝は、水平振幅は左右信号の和(L+R)、上下振幅は左右信号の差(L-R)として録音・カットされており、特に本レコードのように通常のレコードより+5dB程もハイレベルでカットされた複雑な音溝の再生は、より以上のカートリッジの振動エネルギーでレコード盤を共振させ、レコードの個有共振によって音質への影響が充分に考えられます。

共振はマスとコンプライアンスの積で表わされますから、レコードの個有共振はレコードを厚く重くすることでマス成分を増して共振を下げ、更にレコード平面均一性の精度を上げ、フラット面に形状変更することでターンテーブル・マットとの密着性を大幅に改善し、共振によるレコードとターンテーブル・マットとの間に起こるリアクションを緩和させる事を可能にしました。これにより今までに無いサウンド・キャラクターが得られ、特に中域から低域の分解能を一段とクリアーにして、そのナチュラルな響きはよりオリジナル・サウンドに近いものと確信しております。

ターンテーブル及びターンテーブル・マットの材質、形

状によっても音質の変化があるように、レコード形状、質量によっても音質へ影響するファクターは充分考えられますが、今回のこのレコードは特に再生条件を考慮した上で新フラットプロフィールを採用致しました。

### 一般レコードとの比較

|     |           |
|-----|-----------|
| 重量比 | 30%up     |
| 厚さ比 | 最厚部 15%up |
|     | 最薄部 65%up |

更に偏心の要因の1つであるセンターホールとプレーヤーのセンターピンとのガタについて注目し、先ず市販プレーヤーのセンターピン寸法を調査してその結果でレコードのセンターホールの設計変更を行い、最小限ガタツキを減らす為にセンターホールの径を小さい方向に持って行きました。

## ■クォーツ・ロック、厚手レコードについて

従来のシンクロナス・ダイレクト・モーターによる大振幅のカッティングでは、動的ワウ・フラッター(ダイナミック・ワウ)が少なからず音質に影響を及ぼしますが、今回の「DAM45」では、高精度にサーボされたクォーツ・ロック D.D.モーターとダイヤモンド・カッター針を採用することで、ディスク・マスタリング時に於けるクォリティーを高め、以前にまして余裕のある音溝巾と大振幅にたえられ、たっぷりとしたピッチとディパスがコントロールされるようになりました。

現在のレコードは再生系機能のグレード・アップに伴い、一段とDレンジ、Fレンジ、及びリアリティ等、大幅に飛躍しています。振幅(P-P) 250 $\mu$ -280 $\mu$ 、(L-R)、ピーク・レベル+20dB程度のもは数多く高密度レコード化しております。このような高密度レコードの溝波形状を完全にトレースする為に再生時の技術的ノウハウ、及びそのテクニックがいろいろ考えられ、かずかずのオーディオ誌上でも論じられています。ヘッド・シェル、トーン・アームやターンテーブル・シートの共振問題等々……。たとえば、ターンテーブル・シートを例にとっても、ゴム、なめし皮、ガラス、金属等、変える毎にその音質の変化は確実に差があります。このように再生時の高忠実トレースはさまざまな問題が残されています。

それでは、ディスクそのものはどうかと考えますと、一時期、薄いレコードはプレスでの塩ビ成形性が良いとされ話題になりましたが、レコードを厚くする(質量を増す)ことでレコードの共振を下げ、更に再生時のレコードとターンテーブル・シートとの間に起る共振を緩和させることで、中音低域の分解能が一段とクリアーになり、特に深みの有る、伸びた重低音の再現とバランスされたダイナミックなパワー感を充分にお楽しみ下さい。

この種のレコードは、特に安定度の高い盤質が必要とされますが、従来からのプロフェッショナル・レコードで開発した材料をベースに、新タイプの配合剤、熱安定性効果の高い安定剤の組合せにより、一層ゲル化性の改善を図り、また更に新タイプ帯電防止剤による静電除去効果ともあいまって極めて安定度の高い、この厚手レコードが生まれ、リアリティの良いダイナミック・レンジをもつオリジナル・サウンドの再現を可能にしました。

### 30センチ45回転レコードの取扱いについて

このレコードは、通常の33 $\frac{1}{3}$ 回転レコードと変った点はありませんが、念のため次のことに御注意下さい。

(1)オートプレーヤー、オートチェンジャーでも使用出来ますが、ある特殊なものでは完全な自動演奏が出来ないこと

もあります。このような場合、手動方式に切替えてお取扱い下さい。

(2)回転が早くなるために、レコードの反りの影響が33 $\frac{1}{3}$ 回転にくらべて出やすくなります。レコードの保管、取扱いには充分注意して下さい。

(3)再生する部屋の温度が低いと、カートリッジが正しく作動しないことがありますのであらかじめ室温を15 $^{\circ}$ C-20 $^{\circ}$ C位に保って下さい。

(4)再生時には特にアームのラテラル、インサイドフォースのバランス、及び再生針の摩耗状態、針圧(メーカー指定の重い方にセット)には充分気を付けて下さい。

(5)このレコードは、ハイクオリティのオーディオ・チェック・レコードのため、カートリッジによってはトレースがむずかしい場合があります。

レコード材質—プロユース材料使用

### ●カッティング・データ

Cutting : TOSHIBA-EMI Cutting Room

Cutting Date : Feb. 7, 1983

Tape Recorder : Studer A-80 MKII

Drive Amp. : Neumann SAL-74

Cutting Lathe : Neumann VMS-80

Cutting Head : Neumann SX-74

Diamond Cutting Stylus

Non Limiter

Non Equalizer



### ■スタッフ

|              |  |
|--------------|--|
| プロデューサー      | 小山正敏   |
| サウンド・プロデューサー | 渡部喜久   |
| ディレクター       | 菅谷憲三<br>三宅彰                                  |
| サウンド・オペレーター  | 大里正毅<br>薄井文介                                 |
| サウンド・エンジニア   | 原清介  |
| カッティング・エンジニア | 岡崎好雄<br>山岸浩司                                 |
| フォトグラファー     | 波多健二   |
| デザイナー        | 板垣 誠   |
| 協力           | (株)アトマン<br>(株)ライト・ミュージック                     |
| 録音場所         | 東芝EMI IST 伊藤咲子S.57.9.22.24<br>中原めいこS.57.9.16 |
| トラックダウン      | 東芝EMI 3ST S.57.9.25<br>TDルーム S.58.2.7        |
| 企画・制作        | 第一家庭電器DAM                                    |
| 製造           | 東芝EMI(株)                                     |